

SDGs新聞

株式会社フジタ

みんなでつくる、働きやすい未来

SDGsラジオを讀んでみよう！

大きな建物やカッコいい道路をつくる仕事って、すごくワクワクしませんか？

そんな建設現場では今、いろいろな年齢、性別、国籍の人たちが活躍しているんです！

たとえば建設会社の「フジタ」には、「F-net(エフネット)」という女性社員のネットワークがあり、女性も働きやすい会社づくりに、社員みんなで取り組んでいます。

また、異なる仕事内容やさまざまな年齢の人たちと交流し、経験を分かち合うことで、たくさんの学びや気づきがあり、仕事のやる気アップにつながっています。そして、そこから30名以上の女性のリーダーが誕生しました。

さらにフジタは、障がいを持った人やいろいろな国の人が働きやすい環境をつくるため、働く時間や働く場所を選べるようにしたり、外国語マニュアルの整備にも力を入れているんですよ。

だれもが自分らしく働ける未来をめざして。みなさんは、将来どんな風に働きたいですか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



大きなビルや、マンション、橋、道路などをつくる仕事ってワクワクしませんか？そんな「建設現場」では、いろいろな年齢、性別、国籍の人たちが活躍しているんです。たとえば建設会社のフジタは女性社員が働きやすいように応援する「F-net(エフネット)」というネットワークを2007年につくりました。「F-net」の「F」は女性(英語で「Female」)の「F」、フジタ「Fujita」の「F」です。F-netを通じてフジタは、女性がリーダーとして活躍するためのさまざまな支援を進めながら、さまざまな人が活躍できる会社づくり(ダイバーシティ)に積極的に取り組んでいます。

画像参照：建設現場で活躍する女性社員(フジタHPより)



F-netをスタートさせたばかりのころは建設現場で働く女性は少なく、社員全体のわずか2%ほどでした。メンバーたちは、毎日の仕事をしながら「女性がもっと働きやすくなるにはどうしたらいいか？」を考え、アイデアを出し合いました。女性用の作業服をつくらしたり、子どもを産んだ後も働きやすいように仕事の続け方を考えるなど、会社の制度や考え方を少しずつ変えていったのです。そして開設から10年後の2017年にはメンバーが262人になり、テレワークなどの制度も充実し、2025年には470人を超えて、さまざまな部署で30人以上もの女性リーダーが誕生しました。



さらにフジタは、障がいを持った人やいろいろな国の人が働きやすい環境をつくるため、働く時間や働く場所を選べるようにしたり、外国語マニュアルの整備にも力を入れています。だれもが自分らしく力を発揮できる会社を目指して、今日もフジタは取り組みを続けています。

画像参照：F-netの活動を行うみなさん(フジタHPより)

キーワード

ダイバーシティ

いろいろな考え方や文化、性別、年齢の違いを大切にすることです。違いを認め合い、みんなが活躍できる社会を目指します。

テレワーク

会社ではなく家などで仕事をする働き方のことです。パソコンやインターネットを使って、家にいながら会議や作業ができます。

対象ゴール



みなさんにできること！

誰もが平等に活躍できる社会にするためにはどうすればいいか、話し合ってみましょう。

おさらい

- 建設現場ではいろいろな年齢、性別、国籍の人たちが活躍している。
- フジタは2007年に、女性社員が働きやすいように応援するF-netというネットワークをつくり、2025年にはリーダーになった女性が30人以上もいる。
- フジタは障がいを持った人やいろいろな国の人が働きやすい環境をつくるための取り組みをしている。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

